

令和2年度 林業普及週間現地情報 (11/24～11/27)

森林管理課

台湾オガタマノキの挿木

11月25日(水)

八重山農林水産振興センター農林水産整備課は、佐藤林業とともに平得県営林内の台湾オガタマノキから緑枝(枝上部)を採取し、佐藤林業の苗畑で挿木を行った。

枝条は、佐藤林業がロープワークを駆使して上部まで登り、採取した。

枝条採取後、佐藤林業の苗畑にて、枝条を10cm程度に切断し、蒸散を抑えるために葉を半分に切り詰めた後、発根剤を希釈した水溶液に5分ほど浸してから、挿木を行った。

挿床は、ピートモスと鹿沼土を3:2で配合したものと市販のさし芽・種まき用の培養土を用い、今後の発根にどのような差が出てくるのか注視していく。

また、今回採取した枝条については、挿穂の状態ですべて西表島にある西表熱帯林育種技術園にも送り、同園でも挿木を行う予定である。

台湾オガタマノキの挿木は、技術的に確立されていないことから、今後も関係機関と情報交換を行い、台湾オガタマノキの造林用苗木の生産技術定着に取り組んでいきたい。

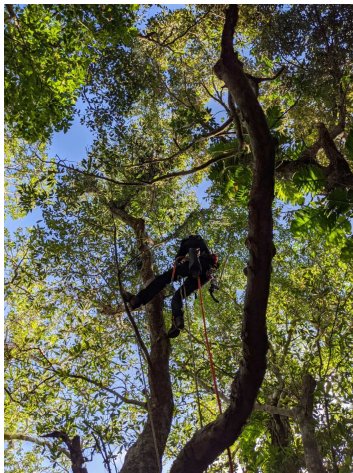


写真1 枝採取の様子



写真2 挿穂の準備

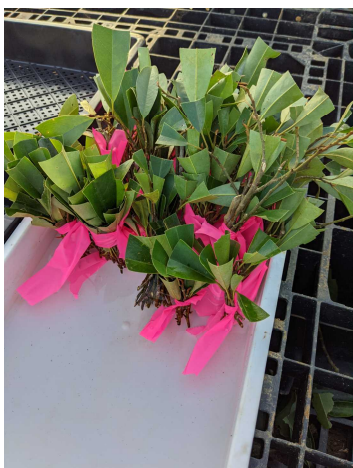


写真3 発根剤希釈液に浸漬



写真4 挿木後の様子

(報告者：八重山農林水産振興センター 金城)